

科目ナンバリング：DIB-2-431-13

商学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「幅広い教養」を身につける為の科目

■授業の目的及び到達目標

普段は余り意識していないかもしれないが、私たちの日常生活は、好むと好まざるとに関わらず政治とは切っても切り離せない。本授業は、学生諸兄に責任ある有権者、この国の主役としての意識喚起を図ることを目的とする。

■授業計画

- 1 イントロダクション
自己紹介、授業の進め方、受講に際しての注意事項、成績評価に関する説明を行う。
- 2 「政治とは何か」を考える
そもそも政治とは一体、どのようなものなのか。現代社会における政治的事象を理解するために必要な基礎的、基本的な概念について学ぶ。
- 3 民主政治
民主政治の起源と発展過程、その基本原理と概念、仕組みについて学ぶ。
- 4 選挙と政治参加
デモクラシーに欠かせない選挙の意味合いや日本における選挙制度の基本構造、その変遷について学ぶ。
- 5 権力と支配・権威とリーダーシップ
政治学における中心概念とも言えるパワーについて取り上げ、権力と支配、権威とリーダーシップそれぞれの特殊性について学ぶ。
- 6 議会政治
議会の起源と発展過程、一院制と二院制（両院制）の違いや上院と下院の力関係、それぞれの長所と短所について学ぶ。
- 7 日本の国会
「国権の最高機関」と同時に「唯一の立法機関」でもある国会の組織、運営、権能に加え、その構成員たる国会議員の地位、身分、権限について学ぶ。
- 8 内閣
日本国憲法が採用している議院内閣制の仕組み、具体的には、内閣の組織、運営、権能、議院内閣制の運用や実際について学ぶ。
- 9 政党
政党の起源と発展過程、その機能や性質、さらには政党制の分類について学ぶ。
- 10 日本の政党
戦後日本における政党政治の歩み、政党制の変容と特色、平成以降の日本において常態化している連立政権について学ぶ。
- 11 世論とマス・メディア
有権者の政治意識や投票行動におけるマス・メディアの影響力、その功罪について学ぶ。
- 12 地方政治
住民にとって最も身近な存在である地方政治に関わる事項について学ぶ。
- 13 「国家とは何か」を考える
国家とは、いかなる存在なのだろうか。国家と他の集合体との違いや存在意味、その起源に関する諸説について学ぶ。
- 14 日本国憲法
国の最高法規たる日本国憲法の成り立ち、基本原理と原則を踏まえた上で、その課題や問題点について学ぶ。
- 15 総括
フィールドバックとしてのミニレポートの返却・解説、学期末試験を実施する。

■授業の方法

基本的に1回完結型の講義形式だが、発問と応答を交互に繰り返しながら双方向性のある授業を行う。理由なき遅刻、途中退席は厳禁。私語、携帯電話・スマートフォンの使用といった授業の妨害行為は絶対に認めない。当たり前のルールが守れない者は退室させる。

■予習・復習

予習は、各回のテーマに合わせて提示された課題図書を事前に読み、自分なりの考えを持った上で授業に臨む。復習では、授業で配付されたレジュメをベースにポイントを整理しておく。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

学期末試験が40%程度（授業で配るレジュメのみ持ち込み可とする）、途中で提出を求めるミニレポートが20%程度、授業態度・参加度が40%程度という割合で総合的に評価する。

■教科書・参考書

教科書：使用しない。授業の度にレジュメを配付する。ただし、その内容は概要的なものであり、詳細な講義内容はメモとして書き込んでいくことを勧める。

参考書：甲斐信好『プレステップ政治学』（弘文堂、2008年）

■関連する科目

国際政治・外交関係の授業を受講することで、さらに政治全般に対する理解・見識を深めることを勧める。